

財政学第1回宿題

平成 14 年 4 月 24 日出題

1 日本の国債についての記述のうち、正しいものを選びなさい。

1. 一般会計の国債依存度は、平成 3 年度以降一貫して上昇し続けている。
2. 1966 年度一般会計予算以降、建設国債が発行され続けている。
3. 赤字国債は、1960 年代からずっと発行され続けている。
4. 市中銀行がすべての国債を引き受け、日銀による国債の引き受けは全面的に禁止されている。
5. 国債の発行は、国会の議決を要するが、公共事業費に充てる場合はその必要がない。

2 次の表は一般会計予算を主要経費別に分類し、社会保障費、国債費、地方交付税等、文教及び科学技術振興費の構成比の推移を示したものです。次のうち、1-5 の正しい組み合わせを示すものを選びなさい。

(単位:%)

| 年度 | 昭和 40 年度 | 昭和 50 年度 | 昭和 60 年度 | 平成 9 年度 | 平成 12 年度 |
|----|----------|----------|----------|---------|----------|
| A | 19.6 | 20.7 | 18.5 | 20.0 | 17.6 |
| B | 13.0 | 12.4 | 9.2 | 8.2 | 7.7 |
| C | 0.6 | 4.9 | 19.5 | 21.7 | 25.6 |
| D | 14.1 | 18.5 | 18.2 | 18.8 | 19.7 |

1. A-社会保障費、B-文教及び科学技術振興費、C-国債費、D-地方交付税等。

2. A-文教及び科学技術振興費、B-社会保障費、C-国債費、D-地方交付税等。
3. A-地方交付税等、B-文教及び科学技術振興費、C-国債費、D-社会保障費。
4. A-社会保障費、B-文教及び科学技術振興費、C-地方交付税等、D-国債費。
5. A-地方交付税等、B-社会保障費、C-国債費、D-文教及び科学技術振興費。

3 以下の文章の中で正しいものを選びなさい。

1. ロールズ的な価値判断よりもベンサム的な価値判断のほうが、より不平等に関心を持っている。
2. ベンサム的な価値判断では、もっとも恵まれていない人の経済厚生が改善すれば、必ず社会厚生も改善する。
3. ロールズ的な価値判断では、すべての人々の経済状態を平等に評価している。
4. ロールズ的な社会厚生関数の形状は、各個人の効用関数を足し合わせたものである。
5. ロールズ的な価値判断では、もっとも恵まれていない人以外の人の経済厚生が改善しても、社会的には何ら望ましい変化ではない。

4 外部効果に関する次の文章のうちで正しいものを選びなさい。

1. ピグー課税によって外部効果を内部化させても、パレート最適な意味での資源配分の最適化は実現できない。
2. 教育投資により技術進歩が発生したときには、私的限界費用よりも社会的限界費用の方が大きくなるので、市場均衡における生産水準は社会的に望ましい水準よりも過少になる。
3. 特定の個人の所有していない共有資源については、私的限界費用が社会的限界費用よりも高くなっている。
4. 外部経済が存在してパレート最適が実現されないとき、当事者同士が合併しても、パレート最適な資源配分は達成されない。
5. 生産をする際に公害を発生している企業の供給する財の価格に、市場の外部で生じた限界費用が反映されていないとき、市場均衡で決まる生産量は社会的に望ましい水準よりも過少になり、価格は過多になる。

5 コースの定理とその限界を説明するものとして誤ったものを選びなさい。

1. 汚染企業に汚染する権利がある場合、資源配分はパレート効率的な状況が実現するが、交渉による利益の配分では、汚染する企業がすべての利得を独占する。
2. 現実には、交渉の当事者が外部効果について正確な情報を持ってないケースが考えられる。
3. 汚染企業に汚染する権利がある方がそうでない方よりも、交渉の結果得られる利得は汚染企業に有利になる。
4. 汚染企業に汚染する権利がない場合でも、住民に補償金を支払うことで汚染企業は住民に対して操業を認めてもらえる。
5. 私的解決方法が期待できないときには、政府の介入が必要とされる。

6 2人の個人 A、B と、2つの財 x 、 y から成る純粋交換経済を考える。2人の効用関数がそれぞれ、 $u^A(x_A, y_A) = x_A y_A$ 、 $u^B(x_B, y_B) = x_B y_B^{\frac{1}{2}}$ であり、経済における2財の賦存量がそれぞれ $e_x = 15$ 、 $e_y = 10$ であり、生産活動はないとしたとき、次の資源配分のうちパレート最適なものを選びなさい。なお、選択肢は、{Aの消費、Bの消費} である。(計算過程を示すこと。)

1. $\{(5,4),(10,6)\}$
2. $\{(9,5),(6,5)\}$
3. $\{(5,5),(10,5)\}$
4. $\{(10,5),(5,5)\}$
5. $\{(7,2),(8,8)\}$

7 「政府の失敗」が発生する理由について説明しなさい。

8 次の設問を読んで、あとの問いに答えなさい。

特殊法人が政府の果たすべき本来の役割を越えて肥大化しているという批判が出ている。以下の特殊法人のなかから1つを選択して、ホームページからその特殊法人が行っている業務の説明文書入手しなさい。そして、「民間でできることは民間で委ねる」という観点から見た場合、その中に政府の役割ではないと考えられる業務が存在しないかどうか検討しなさい。

解答は、

1. 問題とされる業務について、特殊法人はホームページでどのように説明しているかを簡単に記述する
2. それが政府のすべき業務ではないと考える理由を簡潔に説明する。

の要領でまとめなさい。(この問題は唯一の正解があるわけではありません。解答者の調べ方や考え方でたくさんの答えが生まれます。解答者の考えの説明が論理的にできているかどうかを基準に採点します。)

対象とする特殊法人

- 国民生活金融公庫、雇用・能力開発機構、中小企業金融公庫、都市基盤整備公団、日本道路公団

解答要領: 宿題の様式は、A4片面のみ使用し、ワープロ書き、手書きのどちらでも構いません。答案には、必ず氏名、学籍番号を明記してください。また、枚数は自由です。

提出日: 5月13日の授業時間に回収します。この日以外の時間に提出しても、受け取りませんので、ご注意ください。